

門徒推進員養成連続研修会（連研）開催要項

2020(令和2)年4月1日改訂

1. 目的 話し合い法座を中心に、「法座の問い」に沿って連続的に研修を行い、「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）を門徒の立場から強力に推進する門徒推進員を養成する。
2. 研修期間 通算2年以内に36時間以上（1回平均3時間以上）。
3. 受講対象 「連研」修了後に、門徒推進員中央教修を受講することが可能な門徒。
4. 講師 門信徒教化部備付の研修講師名簿に登録された者、または主催者が推薦する者。
5. 教材 『連研ノートE〔改訂版〕』を使用することを基本とする。

6. カリキュラム

内 容	時 間
1. 開会式 ～ お勤めの練習・作法	30分
2. ご親教「念仏者の生き方」から学ぶ〔講義概要〕	30分
3. 問題提起(12の問い)	30分
4. 話し合い法座	60分
5. まとめ ～ 閉会式	30～60分

※上記は、『連研ノートE〔改訂版〕』を元とした一例です。

7. 開催形態 (1)組連研

組内寺院の門徒を対象に「組連研」を開催する。

①名 称 「門徒推進員養成〇〇組連続研修会」とする。

②期 数 名称に通算期数を冠する（例：第◇期〇〇組連研）。

※但し、組画編成により合併した組については、多い期数を冠する。

③主 催 「御同朋の社会をめざす運動」（実践運動）組委員会（以下、「組委員会」という）。

④受 講 者 組内寺院の門徒。

(2) 寺院連研

組連研の開催が困難な地域に所属する寺院は、「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)教区委員会(以下、「教区委員会」という。)及び組委員会の議を経て、「寺院連研」を開催することができる。

- ①名 称 「門徒推進員養成〇〇寺連続研修会」とする。
- ②期 数 名称に通算期数を冠する(例：第◇期〇〇寺連研)。
- ③主 催 組委員会。
- ④受 講 者 10人以上の門徒。

(3) 教区及び沖縄県宗務特別区(以下、特区)における連研

(4) 直轄寺院及び直属寺院における連研

(5) その他連研

※組連研及び寺院連研のほか、必要に応じて上記(3)～(5)の「連研」を開催することができる。但し、開催にあたっては、門信徒教化部へ相談のうえ、教区委員会及び組委員会の議を経て開催するものとする。その場合、名称、趣旨等については組委員会及び関係寺院等を中心に、十分に考慮しなければならない。

8. 報 告 書 「連研」終了後、所定の「連研開催報告書」及び「連研実施内容報告書」を、組事務所及び教務所を経て、門信徒教化部へ提出する。

※なお、特区においては、沖縄県宗務事務所より門信徒教化部へ提出する。

9. 助 成 金 所定の「連研開催助成金交付申請書」に、上記6の報告書一式を添えて、組事務所及び教務所を経て門信徒教化部へ提出し、助成金申請を行う。

助成金は、第1期終了には5万円、第2期終了以降には2万円とする。

但し、交付対象は連研を終了した当該期組連研のみとし、期を遡って申請することはできない。また、上記7の(2)～(5)の連研(特区は除く)へは助成金を交付しない。

※なお、特区においては、沖縄県宗務事務所より門信徒教化部へ助成金申請を行う。

以 上

2023(令和5)年度 連研中央講師名簿

	教区	組	寺	職分	名 前
1	北海道	札幌	如来寺	住職	うちもと たかまる 打本 毅磨
2	北海道	日高	崇徳寺	住職	にんげき たかし 忍関 崇
3	新潟	与板	常禪寺	住職	あさひ いさお 旭 勲
4	新潟	巻	妙光寺	住職	いのうえ けいせい 井上 慶永
5	高岡	伏木	要願寺	住職	はやし ふみき 林 史樹
6	岐阜	華陽	願照寺	住職	いわご のりゆき 巖后 範之
7	岐阜	飛驒	神通寺	住職	あさと たかつな 朝戸 臣統
8	滋賀	彦根	純正寺	住職	あやみ かくえ 漢見 覚恵
9	滋賀	彦根	純正寺	衆徒	みま ひろみ 美馬 裕美
10	奈良	添下	西教寺	衆徒	ふじもと ぶんりゅう 藤本 文隆
11	奈良	葛城北	無量寺	衆徒	なかがわ おおき 中川 大城
12	奈良	吉野西	圓光寺	住職	わ け しゅうこう 和氣 秀剛
13	大阪	天野南	大円寺	衆徒	いしざき ひろのぶ 石崎 博毅
14	大阪	讃良	自然寺	住職	かとう しんご 加藤 真悟
15	兵庫	加古川	金照寺	衆徒	さいむ きよこ 宰務 清子
16	山陰	大田東	専勝寺	住職	かなもり まいこ 金盛 麻衣子
17	備後	深津	光行寺	住職	かりや こうえい 苅屋 光影
18	山口	岩国	西福寺	住職	くまがい まきのぶ 熊谷 正信
19	福岡	福岡	正法寺	住職	しまだ すなお 志摩田 真生
20	福岡	御笠	願應寺	住職	なかがわ かずあき 中川 一晃
21	佐賀	松浦	源光寺	衆徒	は た ゆいみょう 波多 唯明
22	熊本	益東	教尊寺	住職	おおみち おさむ 大道 修

2023(令和5)年4月1日現在

連研開催報告書

教 区	組 名	寺号（寺院連研）・ブロック	期 数
			期
種 別	1. 組連研（参加寺院ヶ寺） 2. 寺院連研（ヶ寺）		
開催期日	年 月 日から 年 月 日		
実 施 方 法	1. 会 場 ①持ち回り（ヶ寺） ②固定		
	2. 講 師 ①組内講師（名） ②教区内講師（名） ③教区外講師（名） ④その他（名）		
	3. 開催方法 ①開催回数（回） ②開催時間（1回につき約 時間・合計 時間）		
	4. スタッフ会議 ①事前会議 あり（各回毎・その他[]）・なし ②反省会 あり（各回毎・その他[]）・なし		
	5. 使用教材 ①連研ノート（A・B・C・D・E・E〔改訂版〕 ②組・教区作成資料（ ） ③そ の 他 〔 〕		
	6. 参 加 者 ①初回参加者数（男性 名・女性 名 合計 名 ②修了者数（男性 名・女性 名 合計 名 ③修了者年齢〔 ~19歳 名・20代 名 30代 名・40代 名 50代 名・60歳～ 名 ④参加者層〔 ①はじめての人が中心・②聞法を重ねた人が中心 ③寺院役員（責役・総代等）・④仏教壮年会員 ⑤仏教婦人会員・⑥仏教青年会員・⑦その他		
※当てはまる項目 全てにチェック をつけて下さい			
以上、連続研修会を開催いたしましたのでご報告いたします。 年 月 日 組 連研担当者 印 年 月 日 組 組 長 印 年 月 日 教区 教務所長 印			

連研実施内容報告書

教 区		組 名	寺号・ブロック名	期 数
回数	開 催 日	会 場	テ ー マ (内容)	講 師 名
1	月 日 ()			
2	月 日 ()			
3	月 日 ()			
4	月 日 ()			
5	月 日 ()			
6	月 日 ()			
7	月 日 ()			
8	月 日 ()			
9	月 日 ()			
10	月 日 ()			
11	月 日 ()			
12	月 日 ()			
	月 日 ()			
備考				

